

白谷雲水峡の紹介

中央中学校

一年

荒木

大馳

ぼくは屋久島が大好きです。特に白谷雲水峡という登山ルートがお気に入りでです。だからこのルートについて紹介します。

服装は、長ズボンと、半そで、を着ます。くつは、裏がすり減っていていなくてはき慣れている物で行きます。他には、お菓子やカップラーメン、水筒などを持って行きます。入口を過ぎると「今から頂上まで頑張ろう」とい

う気持ちになります。

まず、さつきつり橋に到着します。ここは多少ゆれますが、^{木木}と激しく流れる川の景色がとてきれいで心が落ち着きます。ここを過ぎるといろんな杉や苔が見えます。杉はそれぞれ名前がついていて、その由来もあります。例えは、「奉行杉」は、江戸時代に見回りにきたお奉行様がこの辺りで休憩をしたのが名前の由来です。このように杉には、名前のある物もあります。杉には、「苔」という

植物が生まれます。種類によっては変わると
ふちふちし、たんかのある苔もあります。屋
久島には約七百種類の苔があります。観察す
るときにはふまないようにしてください。

進んで行くときぐり杉にたどり着きます。

ここは、名前の通り木の根元にトンネルがで
きていて、そこをくぐることができます。な
ぜこの様に生えたかという倒木の上に木が
育ち、倒木をまたいで根をはりました。そし
て、倒木が腐りトンネルのようになったから
です。屋久島には変な形の杉がたくさんある
ので探してみてください。

屋久島町立 中央中学校

ここからは、苔むす森林という場所に入りま
す。ここは、様々な場所に苔が生えています。
そして、雨が降ると、キリの色まで緑色に亦
化します。まるで、ジブリの「もののけ姫」
のユダマが出てきそうな雰囲気です。白谷雲
水峡コースのなかでも人気の場所なので、こ
の風景を楽しみながら登ってみてください。
この途中で、白谷小屋という休憩場所があ

ります。ほくは、ここにくるたびにお湯をあ
かしてカツプラインを食べています。山の
中で食べるというもより特別な感じなのでお
いしいです。

白谷小屋から進むと辻峠という場所に着き
ます。ここは、目標の「太鼓岩」という場所
の一つ後ろの休憩場所です。少し休み、体力
を回復させてから登ります。なぜかというと
太鼓岩までは、急な斜面でかけのよ様な峠だ
からです。だから、おっくてもあともう少し

屋久島町立 中央中学校

なので頑張ろうという気持ちになります。

このきつい峠を登ったら、ついに太鼓岩に
着きます。ここは、屋久島の森を一望できる
場所です。この岩の名前の由来は、岩をたた
くと「ポン」という音がすることから名前の由
来だろうです。ここに登ったらまず、ほくは
岩にひっつきます。景色は、ほとんどの日が
きりで見えませんが、晴れたら町まで見え
てすごく感動します。この景色は運が良くな
いと見えないので、見えるかどうかは、日々

の行いによります。

大鼓岩で休憩した後は下ります。下り道は一番けがのする可能性が高い道です。ぼくも夫くさん下りですべて、けがをしていません。おすすめの下り方は急なところやぬれてすべりそうなところは、しゃがんで手を使い下ります。出口を出たら達成感があり何回登ってもこのしゃがむ間がうれしいです。

ぼくが屋久島が好きな理由は、自然の中でいろんな感情が得られることです。だから屋

久島が大好きです。